

愛知県自然環境保全地域

東 谷 山



 愛知県

愛知県自然環境保全地域とは

わたしたちが、健康で文化的な生活を享受していくためには、単に物質的な豊かさのみでなく、自然とのかかわりの中で、豊かな精神性を養うことが必要です。自然は、生命をはぐくむ母体であり、単に経済活動のための資源としての役割を果たすのみでなく、それ自体が豊かな人間生活に不可欠な役割をもっています。

このため、自然環境保全施策の基本となる法制度として、国においては、昭和47年に「自然環境保全法」が、愛知県においては、昭和48年に「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」が制定されました。

愛知県自然環境保全地域は、この条例によって指定されるもので、すぐれた天然林や貴重な動植物の自生地などの貴重な自然環境を有する地域を、わたしたちの共通の財産として、将来にわたって保全しようとするものです。



案内標識

東谷山の自然

東谷山は名古屋市北東部と瀬戸市との境界にあります。西側には名古屋市東谷山フルーツパークが隣接しており、フルーツパークに訪れた人が散策する姿も見られ多くの人に親しまれています。標高は198mと名古屋市内の最高所です。

山頂に神社があることもあり、名古屋市内という大都市の中にもありながらも開発されることなく、豊かで優れた自然が残されています。

東谷山のうち、自然環境保全地域として指定されている西側一帯は、注目すべき動植物が多く生息生育しており、豊かな生態系が保たれています。

谷部の地下水と貧栄養の土壌を基盤として、森林の中に、湿地や草地といった要素を含めた多様な自然環境が維持されています。谷部に形成されている湿地周辺には、注目すべき植物が生育する特異な環境を形成しています。

県内ではこのような良好な自然環境を有する地域は少なくなっています。

東谷山の植物

東谷山自然環境保全地域を特徴づけているのは北斜面に分布するツブラジイ、アラカシが優占する常緑樹林です。大きなものは樹高25m、樹齢は300年以上と思われるものもあります。

南西部には明るい湿地があり、この湿地はオオミズゴケで覆われ、シデコブシ、サクラバハノキ、シラタマホシクサ、ヌマガヤ、サギソウ、ヘビノボラズ、アギナシ等が生育しています。また、名古屋では少なくなったサギソウも目立ちます。



シデコブシ

さらに、南東部の登山歩道に沿った帯状の地域にも湿地が存在しています。こちらは遷移が進んで樹木が多く茂って、やや暗くなっていますが、樹高7～8mのものから数10cmの幼苗までの各段階のシデコブシが生育しています。

かつて、東谷山周辺にはこのような湿地が点在していたものと思われますが、それらの多くは造成により姿を消しており、東谷山の湿地は、貴重な存在となっています。

林床にはシマジタムラソウやヒメコヌカグサが見られます。

その他、東谷山の頂上付近にはシダミコザサの群落が見られます。



ヘビノボラス



シラタマホシクサの群落



シマジタムラソウ

東谷山の動物

自然環境保全地域の常緑樹林を中心に、哺乳類ではムササビ、テン、ノウサギ、ニホンリス等が生息しており、国指定天然記念物であるニホンカモシカも確認されています。

また、昆虫では湿地部にヒメタイコウチが生息しています。ヒメタイコウチは中国や韓国に広く分布していますが、国内では愛知県周辺と兵庫県や香川県でしか見つかっていません。

周辺ではフクロウが確認されているほか、猛禽類であるオオタカ、ハチクマ、ハイタカ、サシバ等も確認されています。



山頂からの眺め



ヒメタイコウチ

とうごくさん
愛知県東谷山自然環境保全地域の保全計画

(平成22年4月2日指定)

指 定 理 由

名古屋市の東北部と瀬戸市との境界にある東谷山を中心とする本地域の北部には、スダジイ、アラカシ、ツブラジイなどの常緑広葉樹が比較的まとまった面積で残されています。また、本地域の南西部には湿地があり、ヌマガヤ、シラタマホシクサ、サギソウ等の湿地植物が生育しており、南東部の登山道沿いにはシデコブシの群落があります。

大都市周辺のこのような自然度の高い植生の存在は、極めて貴重であるといえます。

したがって、これらの自然環境を保全するため、自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例第20条第1項第4号の植物の自生地、野生動物の生息地として愛知県自然環境保全地域に指定するものです。

保 全 計 画

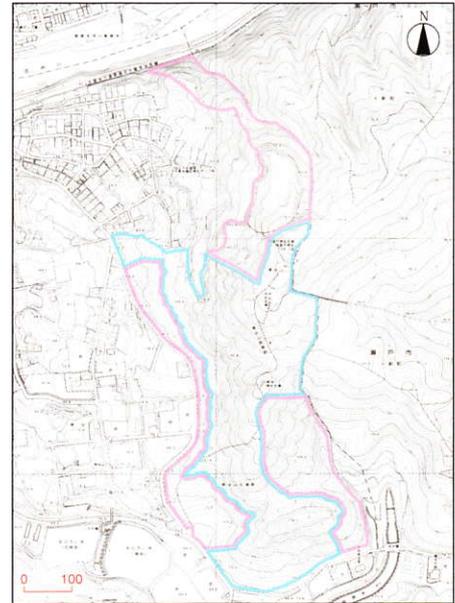
1 保全すべき自然環境の特質

北部の斜面には、愛知県の平地の自然植生であるシイ林の規模の大きな群落が見られます。また、2カ所ある湿地には東海地方の固有種であるシデコブシの群落のほか、シラタマホシクサ、サギソウ等も生育しており、大都市に近接した位置にありながら、極めて良好な自然が残されています。

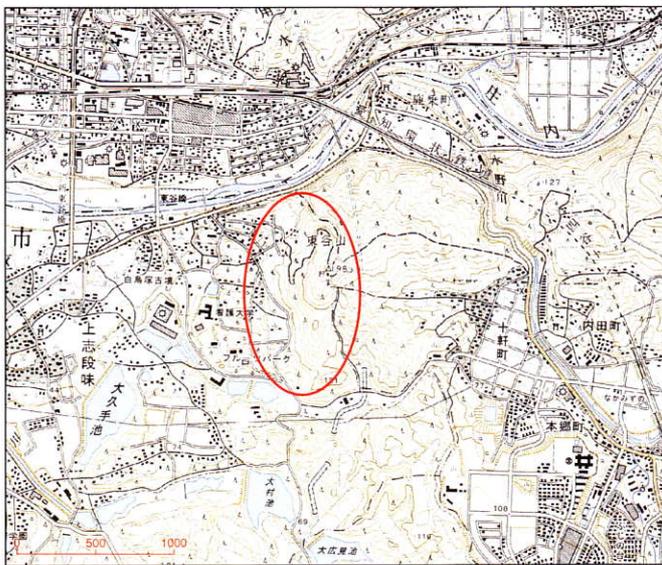
さらに、林内にはニホンリスやムササビ等が生息しており、本地域の周辺にはオオタカ、サシバ、ハチクマ等の猛禽類も生息しています。

2 面 積

特別地区 (うち野生動植物保護地区)	普通地区	合 計
12.40 ha (12.40 ha)	15.27 ha	27.67 ha



□ 特別地区 □ 普通地区



所在地 名古屋市守山区

問い合わせ先

愛知県環境部自然環境課

名古屋市中区三の丸3-1-2

電話 (052) 954-6230

(ダイヤルイン)

古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

